



とめ地域だより



第19号 平成23年2月 発行：宮城県東部地方振興事務所 登米地域事務所

きのこ料理の商品化へ!! 料理講習会と試食会を開催

～ 米川活性化サポート会議による地域活性化への取り組み ～

【林業振興部】



【八巻氏による調理指導】

当部では、登米市及び米川生産森林組合と連携し、東和町米川地区の恵まれた森林資源や特産林産物を活用した地域活性化を実現することを目的に、「米川活性化サポート会議」を立ち上げ、新たな取組を支援しています。

今回は、米川地区の特産品であるきのこことその加工品を使った料理の商品化を目指し、1月24日にフードコーディネーターの八巻美恵子氏を講師に、きのこ料理講習会と試食会を開催しました。会場の米川公民館には、道の駅や福祉施設関係者、地域住民など約20人が参集し、八巻氏が考案したレシピに基づき、各メニューを指導を受けながら調理し試食を行いました。

【メニュー：①たっぷりきのこの肉饅頭 ②きのここと地場産やさいのさつまあげ ③舞茸カレーパン ④きのこでドレッシング】

試食品には、米粉や地場産肉などの地元食材もふんだんに使われており、参加者からは「舞茸の香りが広がる」「きのこの食感や風味がいい」など大変好評でした。

今後は、2月に地域住民を対象として新商品の発表会を開催する予定です。今回の試食会や発表会で得られた意見を踏まえ、価格設定や地元食材調達の方法等を検討し、4月以降に道の駅や各種イベントで販売を行うこととしています。

東和町米川地区の特産品であるしいたけや舞茸は、これまで乾燥粉末状の加工品等として通年販売されていましたが、この度、新メニューを開発・商品化し、新たな地域の食材として観光客等に提供することにより、地域活性化やきのこの消費拡大に繋がると期待されています。



【完成したきのこ料理メニュー】

みやぎの明治村 登米町商店街で絵のまち巡り!



【登米中学校 鈴木紗知さんの作品】

登米市登米町内の商店街では、地域住民に親しまれる店舗づくりを目指し、町内の幼稚園、保育所、小学校、中学校の子供たちの描いた絵画約450点を53店の店頭に展示します。

【2月1日（火）から28日（月）まで】

また各店舗には個性あふれる暖簾（のれん）を掲げておりますので、みやぎの明治村「登米町」を散策しながら、絵画と併せてごゆっくり御鑑賞ください。展示箇所等の詳細は、みやぎ北上商工会ホームページに掲載されております。

(<http://www.miyakita.miyagi-fsci.or.jp/index.shtml>)

**「みやぎ里山コモンズ・パートナーシップの森づくり」協定を締結
～ 株式会社 登米村田製作所による里山林の整備 ～**

【林業振興部】



【協定書を披露する関係者】



【ムラタの森と命名された里山林】

当部では、環境貢献や社会貢献を目的としたCSR活動として森づくりを希望している企業等と、活動の場としての里山林を提供する森林所有者との橋渡し役となり、里山環境の整備活動を支援しています。

このほど1月20日に、登米市東和町米川字西綱木地内の森林について、株式会社登米村田製作所と森林所有者の米川生産森林組合が使用協定を締結しました。本協定の対象面積は、35.65 haと県内の既存協定の中では最大の面積となりました。

「ムラタの森」と命名されたこの里山林では、今年の春から社員や家族による植栽などの森林整備が実施されることになりました。

当部では、植林など森林の整備活動の実施に際し、登米市と連携し、森林の整備に必要な技術指導や体験活動など、地域に根ざした里山林の整備活動等を積極的に支援して参ります。

※CSR：企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility)

**みやぎ農業未来塾「アグリパワーアップ講座(第1回)」を開催しました
～ 第2回・第3回講座の受講者募集中です！ ～**

【農業改良普及センター】



若手農業者に対する支援の一環として、みやぎ農業未来塾「アグリパワーアップ講座（第1回）」を1月25日に登米合同庁舎で開催しました。

この講座は、若手農業者の経営管理能力の向上を図るために、就農1年目～5年目までの新規就農者等を対象に毎年開催しており、今年は主に複式簿記の基礎を学ぶことを目的として3回の講座を実施する予定です。

当日は、新規就農者及び農業法人就農者、農業研修生ら10人が参加し、普及センターの経営指導担当者が講師を務め、複式簿記の初歩的知識について講習を行いました。短時間の講義ではありましたが、具体的な事例をあげながら、財務諸表や仕訳について説明を行った結果、参加者は複式簿記について十分理解したように見受けられました。

第2回目の講座はパソコンを使った簿記、第3回目は税理士による税務研修を予定しています。本講座に関心のある方や第2回目以降の講座に参加を希望される方は、当普及センター地域農業班にお問い合わせください。

【TEL（直通）0220-22-8603 担当：大庭・齋藤】



B級グルメ「油麩丼（あぶらふどんぶり）」と登米市を全国に強烈アピール！

～ 第2回全国ご当地どんぶり選手権に出店 ～

【地方振興部】



1月8日～16日までの9日間にわたり、全国各地の名産品や食材が一同に集まる「ふるさと祭り東京2011」が東京ドームで開催されました。このイベントと併せて開催された「全国ご当地どんぶり選手権」に登米市の油麩丼の会(会長：海老名康和氏)が出店し、油麩丼の販売及び登米市のPRを行いました。

今年で2回目となる「全国ご当地どんぶり選手権」では、全国各地から厳選された20店舗のどんぶりが味を競い合い、お客様による投票も行われました。

開催期間中の総入場者数は38万人に達し、昼食時には油麩丼のブースも行列ができました。投票の結果、グランプリには、北海道の「うにめし丼」が選ばれ、油麩丼は一步及びませんでした。が、だし汁を吸った油麩と絶妙にからむ半熟の卵の食感が人気を呼び、特にヘルシーな丼として女性に好評でした。

更に、本イベントに関して、連日マスコミ等の取材・報道が盛んに行われたこともあり、宮城県登米市の全国的な知名度及び認知度アップに多大な貢献ができました。

当部では、油麩丼を通じて地域活性化を目指している油麩丼の会の活動を引き続き支援して参ります。



スポーツ選手の食事と食育について学びました

～ 食育講座「スポーツと食育」講演会を開催 ～

【地方振興部】



みやぎ食育アドバイザーの管理栄養士 川端理香氏を講師に迎え、登米地域食育講座「スポーツと食育」講演会を1月22日に開催しました。この講座は、登米保健所、教育事務所と当事務所が主催して開催したもので、中学生や保護者、スポーツ指導者など約100人が参加しました。

川端氏には、日本オリンピック委員会強化スタッフとして、水泳の北島康介選手や全日本女子バレーボールチームなどの栄養管理をサポートした経験から、スポーツ選手の食事に関連した食育のお話をいただきました。

特に朝食を食べることが基本で、炭水化物、タンパク質、ビタミンなどをバランス良く採ること、更にスポーツ選手は、練習後に牛乳や豆乳を飲むことで100%の栄養吸収を促すとのアドバイスがありました。川端氏の講演は、今後の食育推進活動等に大変参考となる内容でした。

また、米山高校の生徒が「食と農に関する取り組み」について事例報告を行いました。

当部では、今後も関係機関と一体となった食育推進活動を展開していきます。

2月3日(木)には、登米地域の食育推進研修会が登米市迫町のホテルニューグランヴィアにて開催されますので、参加を希望される方はお問い合わせください。

【TEL(直通) 0220-22-6112 担当：小高】





【プロジェクト発表】



【意見交換会】

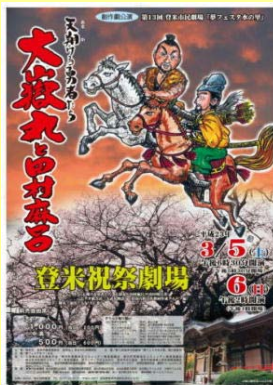
登米市内若手農業者のグループ「登米市4Hクラブ」（会員18人）は、1月23日に、日ごろの営農活動に対する主張やプロジェクト活動等を発表する「平成22年度登米市農村教育青年会議」を開催し、クラブ員等16人が参加しました。

会議では、プロジェクト発表1人、農村青年の主張2人の計3人が発表し、まずプロジェクト発表では、佐藤瑛彦さんが、たい肥舎を建設する際に、工事の多くを自力施工した取り組みを報告しました。

また、農村青年の主張では、鈴木仁衣奈さんが、家業のいちご栽培を手伝ううちに農業の楽しさに目覚め、ジャムの加工場を建てるに至ったことを発表し、高橋寿美さんは非農家から農業に就業して、丁寧に作業することの難しさや農業の楽しさに気づいたことなどについて発表しました。いずれの発表も、青年が意欲的に農業に取り組み、楽しさを見いだす中で、向上心を持って日々の仕事に向き合っている姿を感じさせるものであり、今後の経営発展が期待される内容でした。

審査の結果、最優秀賞には佐藤さん、鈴木さん、優秀賞には高橋さんが選ばれ、最優秀賞の2人が県農村教育青年会議で発表することになりました。

本会議は、クラブ員が現状の農業経営やクラブ活動を振り返る良い機会になったと思われます。当普及センターでは、今後も登米市4Hクラブの活動を支援していきます。



夢フェスタ水の里 「大嶽丸と田村麻呂」を市民が熱演！

登米市の文化や歴史をテーマに毎年上演される市民手づくりの演劇「夢フェスタ水の里」。今年は、9世紀前後の登米市を舞台に「エミシ」の長である大嶽丸と大和軍の坂上田村麻呂の戦いを描いた創作歴史物語を市民が熱演します。皆さまお誘い合わせの上、是非ご覧ください。

○開催日時：平成23年3月5日(土) 午後6時30分開演(午後5時30分開場)
3月6日(日) 午後2時開演 (午後1時開場)

○開催場所：登米祝祭劇場(登米市迫町佐沼字光ヶ丘30)

○入場料(前売)：大人 1,000円 小中高校生 500円 未就学児 無料

○問い合わせ先：登米祝祭劇場(電話 0220-22-0111)

次号は3月上旬発行予定です

「とめ地域だより」は当地域事務所各部の情報を取りまとめ作成したものです

内容についてのご意見、ご要望、お問い合わせ等につきましては、下記までお寄せ願います。

宮城県東部地方振興事務所 登米地域事務所(地方振興部)

〒987-0511 登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

電話：0220-22-6112(直通) ファクシミリ：0220-22-7522

e-mail：et-tmsinbk1@pref.miyagi.jp ホムペーヅ：http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/

